

「北総生きもの研究会」7月例会

日時：2007.7.14 谷田・福祉センター2F

参加者：坪井・堺・堺(初) 米田・岩本・相馬(唐)・斉藤・中條・相馬(な)・長谷川・森田 12名

0. 発表(みなさんからの活動の報告)

- (坪井) ツリガネニンジンを探す。富士の野間土手を調べてみようと考えている。
- (坪井) 地図をあずかっているが、A3でスキャナーをかけたが貸してくれるところはないか。→文化センター石渡さんに相談したらどうか。
- (堺義) 6-7月にかけてサシバの雛が繁殖地で育つのを確認した。印西市で19地点ある。
- (堺初) 繁殖地点では2羽~3羽が見られ、今年初めて4羽の雛が確認できた地点もあり、大変うれしかった。
- (米田) 谷田・武西では植物が点で咲いている場所と、面で咲いている場所があった。
- (岩本) 谷田の草原の植物が単調になる。谷田ではカセンソウの花は見られなかった。武西では、カセンソウがたくさんある場所があった。植物の盗掘があとをたたく、穴ぼこがそこらじゅうにあり、一見草に覆われているが、歩くとデコボコを感じる。
- (相馬唐) 写真整理の仕方を教えて欲しい。
- (斉藤) 現在、谷田・武西地区で20回弱調査した。現在までに101科434種確認できている。イネ科53種、キク科50種、マメ科23種、千葉県RDBでは、Bランク2種、Cランク8種、Dランク11種確認されている。外来種は、62種(14%)、キク科の外来種は、17種(17種/50種 34%)になる。
- (中條) アゲハチョウ、アオスジアゲハ、キアゲハ、クロアゲハを見た。キアゲハとアオスジアゲハを水辺で多くみた。ナガサキアゲハが利根川にいた。
- (森田) ヤブカンゾウの花がきれいだった。土が動いていない場所で(古い場所で)見られる。空中散布の前後でバッタを調べたが、その間で草刈が行われ、失敗に終わった。→空中散布の薬がきくように草刈が行われる。
- (相馬な) 事務処理に終わっていた。ナキイナゴを調べた。ジャノメチョウの**後交尾**の写真を撮ることができた。
- (長谷川) 2007.6.3 神崎町で行われた不耕栽培の見学をした。不耕機栽培で、農薬を使わず、冬季たん水していこうとする動きが白井でもある。印旛沼で冬季たん水する農家が1件でてきた。クモの実習で蛍光パウダーとブラックライトで夜のクモを観察した。

1. 6月の活動報告

- ①中央博物館見学 原田先生による地衣類調査(2007.6.26)

地衣類標本庫見学、標本作成、実体顕微鏡での観察

②平田先生による植物調査（2007.6.29）武西戸神（地図番号 1759,1760）

③中央博物館見学 古木先生による蘚苔類調査（2007.7.5）

維管束植物標本についての進め方の話、維管束植物・蘚苔類標本庫見学、顕微鏡での観察

④その他

・環境フォーラム（2007.7.2）環境基本計画の見直し

次回 7/30 打ち合わせ

（資料：白井市 平成 18 年度 白井市環境基本計画の進捗状況）

2. 議題

①7/20 生物多様性ちば戦略会議への提案について

・1992年地球サミットではじめて生物多様性が動き出した。1995年国の方針が表明され、2回目の見直しである。この地域に必要な保全はなにか、具体的提案をしていく。

・「7/20 生物多様性ちば戦略会議」資料閲覧

・北総生きもの研究会としての提案内容

1、谷田・武西を地域生態系保護区として県立公園化を目指す。

・谷田・武西の県有地を確保してほしい

・拠点としてビジターセンターがほしい

・博物館と情報を密にする

2、人材の育成

・生物の先生の充実：現在高校でも生物クラブがない状態である

3、水辺マップ・散策路の作成

・北総生きもの研究会が行ってきた具体的内容を資料として添付する

Q：県に要望書を提出した後、進み具合はどうなっているのか。

県へ要望書を提出した後、県の視察があった。両市から、県へ要望書を提出している。両市が足並みをそろえることが大切である。

印西市：現在、武西では自然環境調査が入っている。

印西市から武西の資料を求められれば協力をしていく

白井市：環境課から都市計画課へと部署がかわった。地元への交渉は主立ってはいされていない。どのように保全していくかはこれからである。

②8/10 提出の白井市助成金について

・「市民団体活動支援補助金制度」の応募する

・自主的・自発的に行う公益活動（不特定かつ多数の人の利益の増進に寄与する活動）を財政的に支援するというもの。

・3年間の事業計画は、「ホオジロウオッチング」をメインにし、資料代、報告書代を計上し、活動の公益性をアピールしていく。

・生物多様性ちば戦略会議への提案書の資料を「市民団体活動支援補助金制度」の応募資料にもなるので基礎資料作りということで進めるとする。

③「ホオジロウォッチング」の朝日新聞“ほおじろ”への掲載について

・朝日新聞は「ホオジロウォッチング」の取材には来ていないが、8月号に内容を掲載したいという連絡を受けている。活動のPRが目的である。写真、文章、生きものマップなどを掲載できるか交渉していききたい。掲載の方向で進めていく。

④【手賀沼流域水草類分布調査】について（別紙参照）

・7/21の講座で須藤さんから詳しい話があるので、質問したいことを考えてきてください。

⑤会員募集について その他

・NACSCAJのホームページで活動紹介（全国版）が9月頃から始まる。掲載の方向で進める。

⑥後期日程、内容

- ・後期日程、内容
- ・指標種調査のすすみ具合
- ・地衣類・蘚苔類の今後のすすめ方について
11月～12月にかけて地衣類・蘚苔類について勉強会を行う
- ・維管束植物標本について
植物標本は100年後に正確な情報を残していくためのもの
8月から具体的に博物館と話を進めていく予定
- ・平田先生による植物調査（2007.7.27 12:30-）に行われる。

④その他

- 7/21 手賀沼親水広場 「手賀沼の水生生物の実習及び観察」
現在8名（L2、M6）

胴長を使用するので、必ず出欠をお願いします。

8:55 手賀沼親水広場集合（現地集合）

プログラム案です。当日のご案内は須藤と柄澤 で実施します。

9:00 （水の館3階研修室集合）

9:20～10:20 岸辺で魚類等の採集・観察

～10:40 休憩・片付け

10:40～12:00 採集生物の観察・下総台地のエビ類の見分け方・水草類の観察

昼食 (お弁当持参の方は、荒天時は室内ですとれますが、晴天時には屋外の広場でお願いします。車であれば、近くにファミレスやコンビニにもありますが、ファミレスは昼食時にはたいへん混みます)

13:00~14:00 手賀沼の水環境について (室内講義) 及び展示物による解説等

14:00~14:30 質疑応答等

~ (希望者はその後歓談でもどうでしょうか)

持物: 弁当、飲み物、着替え、魚用あみ (ある方)、雨具、長靴

野外活動 (長袖、長ズボン) のできる服装、帽子、タオル、

A4 ボード (それに代わるもの、紙をとめるクリップ)、筆記用具、携帯電話

救急用品 (森田)、胴長 (L4、M12 森田) (短パン・スニーカーでも OK)

網 (森田: 棒つき 8 こ、70 cm 8 こ)

東邦大学: 図鑑、胴長 (L)

●8/20 (月) バッタ観察・講座 13:00- (谷田福祉センター)

講師: 内田正吉 (白井市環境調査専門委員)

バッタ講座「バッタから見た白井の自然環境について」

観察場所: 谷田 (464R 北側) のバッタ

●8/20 (月) 定例会 16:00~18:00 (谷田福祉センター)

07 年度「北総生きもの研究会」月別活動計画 (補充) 2007.7.14 現在

月	実施日	活動内容	担当者	備考
7	14	午後: コガネグモ講座、コガネグモ調査 (谷田・武西)	相馬 (な)	講師 加藤先生
	21	水生生物講座 (我孫子市「水の館」)	森田	講師 須藤先生
8	20	午後: 講座、夜: 鳴く虫調査	森田	講師 内田先生
9	29・30	バッタ調査 (「しろい環境塾」と合同)	森田	講師 内田先生
10		自然観察会 (印旛村)	高野	
11				
12				
1				
2				
3	15・16	トウキョウサンショウウオの観察会 (千葉市少年自然の家) 1泊2日	長谷川	

その他

◆谷田・武西地区の保全を継続していきたい。